

今日から始める、筋トレ89メニュー

tarzan®

カラダを変える、絞る!



男と女の
全身筋トレ
完全マニュアル

第2特集
カラダに快適な「家」の最前線。

12/10 2009 No.547 550 YEN(特別定価)

- 【問15】フォーム・ベンチプレス
【答え】A 背中の筋肉を使うことが
できるため
- 腕を水平に内側に寄せる動作(水平屈曲)では大胸筋の中部が使われ、水平よりも上方では上部、下方向では下部が使われる。それでみると分かるが、大胸筋は下部のボリュームが大きく、それゆえ発揮される力も大きい。プリッジをするとき半身が逆立ち状態に近づき、強い力の出せる大胸筋の下部を使える。加えて、広背筋、大円筋などの背中の筋肉も使われる。脚の筋肉も腰の筋肉もプリッジをしてカラダを反らす人もいる。脚の筋肉も腰の筋肉もプリッジ作りには必要だが、バーを上げる動作などは直接的には関係ない。ただ腰を反らせると脊柱起立筋が強く収縮し椎間板の圧力が高まりやすくなる。腰痛がある人は避けるべきである。
- 【問16】筋肉名・主働筋
【答え】C 上腕二頭筋
ひとつめの運動を「主たる筋肉を主働筋と呼ぶ。
- 【問17】筋肉名・協働筋
【答え】B 脊柱起立筋
通常、いくつかの筋肉が補助的に一緒に働き、それらを協働筋といふ。サイドレイズでは棘上筋、三角筋、僧帽筋が働く。
- 主働筋と反対の動きをする筋肉が拮抗筋、腹直筋は脊柱を屈曲させ、その拮抗筋である脊柱起立筋は脊柱を伸ばす働きをする。